

単施設用

(調査) 実施についてのお知らせ

西暦2019年 10月 30日

【研究課題名】

腎臓病選択外来（以下腎サポート外来）を経由し腎代替療法を開始することにより当該患者の治療への受け入れ、満足度、QOL、予後が改善しうるか

【研究期間】

2020/1/1-2022/12/31

【研究対象】

2020/1/1-2022/12/31 まで当院にて腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎臓移植）を受けた方

【研究目的・意義】

近年腎代替療法の選択において患者を主体とした選択外来にて治療法についての説明を行うことが盛んになり、2018年度より選択外来は健康保険において加算対象となっている。

しばしば選択外来において説明を受けることにより患者の自発的な選択が行われ、治療に対するモチベーション、アドヒアランスの向上などがうたわれるがそのほとんどは少数の対象患者の意見などを取り上げたもので実際に何らかの効果があつたのか十分に評価されているとは言い難い。

我々はQOLのアンケート評価とその後の予後を見ることにより選択外来の医学的な意義があるかを評価する。

【研究方法】

2020/1/1-2022/12/31 までの3年間に当院において腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎臓移植）を導入予定の方に腎サポート外来を受けてもらう。この際にアンケート（KDQOL）を記入してもらう。

その後腎代替療法を開始した6ヶ月、12ヶ月、24ヶ月、36ヶ月目に同じアンケートを行いQOLの変化を調査する。

一方なんらかの事情（緊急導入や腎サポート外来受診拒否、認知症など）により腎サポート外来受診できなかった方も同様にアンケートを行う。この方たちがコントロール群

となる。

腎サポート外来受診群とコントロール群の QOL、その後の予後を評価する。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

腎疾患患者の QOL 評価に用いる KDQOL 等を使用する。

腎代替療法開始後の生命予後を評価する。

【個人情報の取扱い】

個人情報は保護されます。

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 診療科名： 担当者名：宮里 均

沖縄県うるま市宮里 281 番地

TEL：098-973-4111（代表）